



「 きれりと光るまちの人
SMILE UP! ↑」

Vol.26 **河口 温美 さん**
KAWAGUCHI ATSUMI

移住をサポート！12月に移住支援員に就任

市では本市への移住を促進するため、令和4年12月から、地方への移住を検討している人、特に若者や子育て世代をメインターゲットにした『スマイルシティ・ライフ体験事業』を開始した。この事業の一環として、3年間の任期で本市の移住支援員に就任した河口さん。対面やリモートでの面談、メールなどで、移住検討者からの相談にきめ細やかに対応している。

1月14日には、東京ビックサイトで開催された『JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2023』に、市職員と一緒に参加。市として初めての出展であり、知名度が高い自治体が数多く出展するなか、相談者が来てくれるか不安だったという河口さん。結果的には1日の相談者数が県内1位となるなど、多くの人々が訪問してくれた。「夕陽などの風景の美しさや気候の穏やかなところに魅力を感じている人が多く、今まで当たり前だと思っていたことがすごいことなんだと再認識。ふるさとを改めて誇らしく思いました」と河口さん。空港からのアクセスの良さも強みであり、リモートワークが浸透しつつある都会の人に、移住先として選んでもらえる手応えを感じたそう。

自身は1児の母で、子どもが小学校2年生のときまで本市で過ごした。市外に出て改めて、山陽小野田市は公園が充実していて、子育てしやすいまちだと実感している。「豊かな自然と、買い物などに便利なまちが共存し、県外へのアクセスもいい。子育て世代にもアピールできる強みをどんどん発信し、“移住のまち山陽小野田”を目指します」と笑顔で話した。



【市移住サイト】 【Instagram】

Profile・本市出身、防府市在住。防府市観光大使も務めている。趣味はゴルフや食べ歩き。スマイルプランナーNo.235。Instagramで移住支援員としての活動などを発信中。Instagramでは「#スマイルあつめ」で本市のおすすめスポットや食べ物などの情報を募集している。



▲就任時に藤田剛二市長と ▲東京での移住フェアの様子



えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)

〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 (☎82-1148)

こまつ たから
小松 孝良くん (1歳)
ボール投げがマイブームです☆

にしやま さき
西山 颯姫ちゃん (0か月)
産まれてきてくれてありがとう(^ ^)

